

「転職して天職へ」

四條畷消防署消防隊 消防士 松田 正路（平成27年入職）

人の役に立つ仕事がしたい！

私は大学卒業後、民間企業で働いており、その際、東日本大震災の被災地を訪れる機会がありました。そこで被災された方から「消防士に助けてもらった」、「消防の人と話すことで不安な気持ちがなくなった」という話を聞いたことで人の役に立つ仕事がしたいと思うようになり消防士を目指しました。また、大東四條畷消防本部を志望した理由は生まれ育った土地であるため愛着を感じており、故郷のために力を尽くし恩返しがしたいと考え、志望しました。



目標に向かって

配属後、一番感じていることは人の命を救うことの難しさです。災害現場で市民の方の悲しむ姿を目の当たりにしたとき、「自分にできたことがもっとあったのではないか」と考えさせられます。市民の方々の命が助かる可能性を限りなく高くするために日々厳しい訓練に励んでいますが、訓練をする中で先輩方の体力や技術についていけず悩む日々でした。

しかし、先輩方が私のために相談しやすい環境を作ってくださり、アドバイスをしてくださることで不安を解消することができ、今は「一人でも多くの人を助ける」という目標に向かって日々勉強と訓練に励んでいます。

魔法のことば

消防の仕事は「諦めない気持ち」が大切です。採用試験中も不安になる事が多いと思いますが本当にやりがいのある素晴らしい仕事なので諦めずに自分の持っている力を発揮してください。また、訓練も非常に厳しく辛い現場もありますが、市民の方から「ありがとう」という言葉を頂いた時には何物にも代えがたい喜びがあり、日々の訓練が報われる瞬間です。是非、一緒に大東・四條畷市民の安心・安全を守っていきましょう！！

